

## マーケットの動き（2020年7月6日～7月10日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利が低下しました（債券価額は上昇）。7日に実施された30年債入札が堅調な結果となったことを受けて、40年債に買いが入ったのをきっかけに急速にイールドカーブがフラット化しました。一方で急速な金利低下が進んだ反動もあり、10日には超長期国債の売りが優勢になるなどフラット化は落ち着きをみせました。

## 投資環境見通し（2020年7月）

## 10年国債利回りはレンジ内で推移

日銀は6月の金融政策決定会合で現行の金融政策維持を決定し、3月以降、新型コロナウイルスによる感染拡大を受けて相次いで打ち出した追加緩和策に関して、当面は政策効果を確認する姿勢を示しました。

今後予想される財政支出増加に伴う国債増発に対しては、日銀は国債買い入れを増額するとみられることから、金利上昇圧力は限定的とみています。

10年国債利回りは0%程度を中心としたレンジ内で推移するとみています。

|                         | 7月10日  | 変動幅（騰落率） |        |        |        |
|-------------------------|--------|----------|--------|--------|--------|
|                         |        | 前週比      | 1カ月前比  | 6カ月前比  | 1年前比   |
| 10年国債利回り（日本、%）<br>（変動幅） | 0.01   | ▲0.02    | ▲0.01  | 0.02   | 0.14   |
| NOMURA-BPI総合<br>（騰落率）   | 387.29 | 0.21%    | ▲0.01% | ▲0.56% | ▲1.24% |

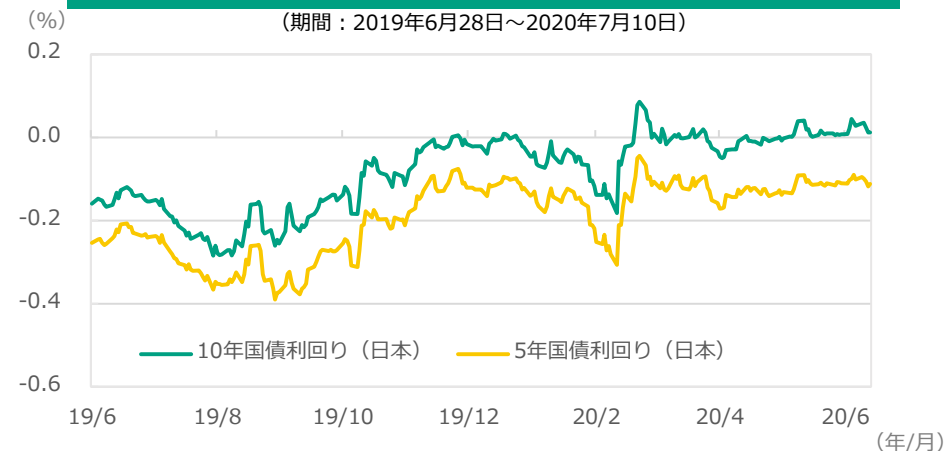
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202007\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202007_outlook.pdf)

## 日本国債利回りの推移

（期間：2019年6月28日～2020年7月10日）



## 野村BPI総合指数の推移

（期間：2019年6月28日～2020年7月10日）



※2019年6月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>